

問題番号	問題文			正答
	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	
61	セルフサービスについての説明で正しいものを選び、顧客が自由に商品を選ぶ売場を実現し、少ない人数で店舗を運営することを第一に考え、経営上の目的である収益を最大化する	商品への容易なアクセスを実現し、その売場が魅力的で、その結果購入に至ることを促す	セルフサービスを実現するには、すべての商品に防犯タグなどを付けるだけではなく、防犯のための監視カメラを多数稼働させ、さらには私服警備員、制服警備員を導入すべきである	2
62	ロス・プリベンションを企業内に定着させるためには、従業員のマニュアルは文書化された手順書であるが、作成したマニュアルはできるかぎり変更すべきではない	マニュアルはすべての従業員が適切な手順でアクセスできるようになっていなくてはならない	マニュアルは店舗ごとにその事情に応じて作るべきである	2
63	次の文章の()内に入る正しい言葉を選び:「売場出入口のアンテナもしくは自鳴式タグで警報音が鳴った場合、第一に疑うべきは、商品に取り付けられているラベルタグなどの無効化や()顧客の不正持ち出し	防犯ゲートの誤作動	ラベルタグの外し忘れ、もしくは無効化処理の漏れ	3
64	ロス対策(プリベンション)担当以外の従業員の説明で正しいものを選び、ロスに関する責任はロス対策担当者であり、担当以外の従業員は、ロスの原因やその対策に対して知る必要はない	ロス対策担当者も含めて、全員にロスの発生状況の認知と報告の業務手順を理解させるために十分な教育訓練が必要である	ロス対策担当者以外の従業員もロスには応分の責任があり、ロスの原因をつかった従業員はそのすべての責任を負うべきである	2
65	ロス対策士の資格について正しい説明を選び、ロス対策士の資格を有するものは、その企業、もしくは自らが担当する店舗もしくは部署において発生したロスについてすべての責任をおわなくてはならない *ロスの責任はすべてロス対策士が負う必要はない。また、アメリカには、資格制度がある。	アメリカには、日本におけるロス対策士と類似したような小売業関係者も含む資格制度がなく、警備会社、警察関係者がロス対策、特に犯罪を防ぐための資格制度が存在する。	アメリカには、ロス・プリベンション・ファウンデーションという団体が、LPQ、LPCという資格制度を運営している	3
66	万引防止システム(EAS)は技術方式の違いから大きく4種類に区分されるが、この中で「アンテナが形成した交流磁場の中にタグが入ると電磁誘導によりタグのコイルに誘起した電圧を検知しタグが警報音を鳴らすもので、そのタグは他のものより高価でハイファッションのアパレル店や電動工具を扱うホームセンターなどでよく利用されている」ものはどれか。			3
67	電波方式	音響磁気方式	自鳴式	1
67	商品管理タグを商品の製造や梱包、または物流段階で商品に装着し、内蔵することを何というか	ファクトリータギング	サプライヤータギング	1
68	監視カメラで撮影する際に個人情報保護法を保護する目的とした法律がある。その法律の名前を選び、個人情報保護法	プライバシー保護法	自己情報保護法	1
69	モニター付き小型カメラの用途についての説明で正しいものはどれか、セルフレジが多く導入されており、モニター付き小型カメラは、レジに設置されている場合があるが、他に使われることはない	モニター付き小型カメラは、セルフレジ以外にも高額品で万引被害が多く発生するような売場への設置も有効とされる	モニター付き小型カメラは高額なため、大きな投資が必要となるため、あまり普及していない	2
70	工業会日本万引防止システム協会は、「推奨顔認証システム制度」を設けているが、その説明で正しいものはどれか。工業会日本万引防止システム協会は、顔認証システム運用に対して積極的に、個人の顔認証システムの使用を制限するためにこの制度を設けている 工業会日本万引防止システム協会は、工業会として初めて個人情報保護認定団体となっており、会員各社、特に顔認証システム運用が安全かつ法律に従うようにさまざまな形で活用している。	工業会日本万引防止システム協会は、顔認証システムに関して、まだ十分に社会認知されていないため、制度は作ったものの、小売業の導入に対して積極的な行動をとっていない	工業会日本万引防止システム協会は個人情報保護認定団体で、安全な顔認証システムの運用を担保するために活動をしている	3
71	非接触で半導体メモリのデータを読み出し、書き込みのための近距離通信を行うものの総称をなんというか。EWT(エレクトリック・ウェイブ・タグ)	RFID(ラジオ・フリークエンシー・アイデンティファイアー)	RFIT(ラジオ・フリークエンシー・アイシー・タグ)	2
72	店舗レイアウトや店内表示についての説明で正しいものはどれか。買い物やすさを第一に考えるべきで、買い物客にとってわかりやすく、探している商品にできるだけ容易に短時間で到達できるようにすべきだ	店内に「防犯カメラ作動中」「隠したら店をですと窃盗犯!」「警察官立ち寄り所」「万引は犯罪です～警察に通報します」など買い物客が疑われる印象を持つかもしれないポスターは掲示物はすべきではない *店の存在理由は買物客にとって好ましい存在でなくてはならない。繰り返し来店し商品を購入してもらうことを第一に考えるべきである。	買物のしやすさよりも、未精算の商品を持ちだすといった不正行為を予防することを優先すべきである	1
73	店舗に保安警備会社から防犯対策専門の警備員を派遣してもらうことができるが、以下の説明で正しいものはどれか。店舗側が警備を行う専任者を保安警備会社から派遣してもらうのではなく直接雇用することによる *警備業は業務を委託されるので、その範囲では店舗側は指示することができないが、小売企業は直接警備員を雇用することができる。	店舗側が警備会社から派遣された警備員に直接作業指示などできる	警備員を人材派遣業者から派遣することができる	1
74	全国万引犯罪防止機構の2018年のアンケート調査による「万引犯を確保した人物」のうち保安員(警備員)ではなく店舗従業員が万引犯を確保した回答があった比率は全体の何パーセント程度か。6パーセント程度	12パーセント程度	18パーセント程度	2
75	POSシステムレポートの活用で不正を発見するために有効なものはどれか。登録件数を店舗の平均と比較する(登録件数が多い場合)	登録訂正数を店舗の平均と比較する(登録直前訂正数が多い場合)	レジ通過客数を店舗の平均と比較する(レジ通過客数が多い場合)	2
76	一旦登録したものを訂正することは返金・返品処理が多いことを示しているため、不正が行われている可能性がある。			
76	捕獲した後の万引犯にしてはいけないものはどれか。余罪を追及すること(過去に自店で万引したことがあるかどうか尋ねる)	捕獲時に万引犯が抵抗をしたため、腕をつかむなど拘束に近い状態で現行犯逮捕し、事情聴取の場まで連れてゆくこと	本人承諾の上で、かばんの中など私物を全部提出させること *現行犯逮捕などで抵抗した場合は拘束することは合法行為であるが、警察が行う取り調べと同様なことではない。したがって余罪追及はできない。	1
77	万引窃盗犯に対して損害賠償請求する場合の損害賠償金額の範囲で正しいものを選び、損害商品金額・もし什器備品の破損があった場合はそれも含む	損害商品金額・人件費(時給単価×店舗と保安員拘束時間)・もし什器備品の破損があった場合はそれも含む	損害商品金額・人件費(時給単価×店舗と保安員拘束時間)・もし什器備品の破損があった場合はそれも含む・それに加えて顧客に不安を与えたことなどの迷惑料も含む	2
78	「割れ窓理論」の説明で正しいものを選び、窓ガラスなどを破り、侵入し、大量の商品を持ち出す悪質な者の犯行手口を分析し体系だてた理論を「割れ窓理論」という	警察職員によるパトロールや交通違反の取り締まりの強化などは「割れ窓理論」の対策としては含まれない	レジ通過客数を店舗の平均と比較する(レジ通過客数が多い場合)	3
79	応急手当の中でも「心蘇生」「AED」「気道異物の除去」の三つは、命を救うための処置であるが、以下の説明で正しいものを選び、自動体外式除細動器は、突然の心停止となった場合、静止した心臓に電気ショックで刺激を与え、心臓を再起動させる装置である	AED(自動体外式除細動器)は、突然の心停止の原因となる重症不整脈に対して、心臓に電気ショックで刺激を与え、心臓が本来持っているリズムを回復させることができる	AED(自動体外式除細動器)は、突然の心停止となった場合、最初に使用し、心臓に電気ショックで刺激を与えることで、呼吸が止まっている、人工呼吸や胸骨圧迫が不要で、心臓と呼吸を回復させることができる	2
80	食品や医薬品など人間の体内に入るものを販売する場合、正しく説明されているものはどれか。食物アレルギーに対するリスクについては、食品原料のアレルゲン表示など、食品表示法に基づいた表示はするのはもちろん、売場をわけて買い物客に明確にわかるような陳列が必要である	薬物の管理は厳密さを要求されるため、一般用医薬品を販売する場合は、必ず、販売(情報提供)は薬剤師が行わなくてはならない	特に生鮮食品などでの品質劣化や消費期限切れによる廃棄などのロスを防ぐためには、先入先出しはもちろんのこと、それぞれの特性に応じた収納保管方法と、発注を含む商品管理方法がとられる	3